

時代に即した事業変革

JSRグループは、マテリアルを通じて新しい価値を創造し、社会問題の解決に貢献することを目指しています。

時代の変遷と社会課題

1960
年代

合成ゴムの国産化

石油化学製品は、日本の戦後復興期において、産業には欠かせない原料資材としての役割を担っていました。しかし、日本は輸入品に依存してきたことで逼迫した需給環境に瀕していたため、合成ゴムの国産化が急務となりました。

1980
年代

産業構造の変化

電子材料は、コンピュータ産業の新興や、マイクロチップが埋め込まれた電子機器およびデジタル通信機器といった製品の登場において、不可欠な存在でした。

2000
年代

将来に向けた社会的優先課題

環境問題への意識の高まりを背景に、より環境に配慮した生活を実現する必要性が叫ばれています。世界より一足先に超高齢社会に向かう日本において、社会が優先すべきもう一つの課題は医療サービスの発展です。

新セグメント区分

2018年度より開示セグメントを変更しました。

これまでの事業セグメント
 (2017年度まで)

石化系事業	エラストマー事業
	合成樹脂事業
多角化事業	半導体材料事業
	ディスプレイ材料事業
	その他



新たな事業セグメント
 (2018年度以降)

エラストマー事業
合成樹脂事業
デジタルソリューション事業 (半導体材料事業、ディスプレイ材料事業、 エッジコンピューティング事業)
ライフサイエンス事業
その他事業